

# a a m s +

## アムス プラス

# 今日は誰が危ない?が事前にわかる!

転倒ハイリスク者を、AIで可視化

## 導入メリット

- 見守り業務のさらなる効率化  
事前予測 (AI) と事後対応 (迅速・正確な通知) による見守り業務の効率化を実現しました。
- 予見が難しい転倒事故が発生した場合もサポート  
運動・認知・睡眠に変化はなかったという客観データを基に、「予見可能性は低かった」と説明することができます。
- 生産性向上推進体制加算 (I) の取得をサポート  
導入効果データを入手できるほか、安心の伴走支援も整っています。

## aams+ 3つのポイント

### POINT 1 AI機能

aamsで取得したバイタルデータから、ADL指標 (FIM) を自動推定

### POINT 2 リスク分類

転倒リスクを「危険」「注意」「配慮 (変化なし)」の3段階に分類

### POINT 3 一覧管理

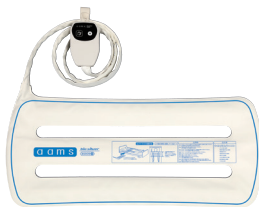
入居者全員のリスク状況を一覧表示し、誰を重点的に見守るべきかを明確に提示



※「配慮 (変化なし)」の場合は色がつきません

## 対象機器

aams + (BS009)



型番

AAMSK/25+

aams + (BS008)



AAMSK/23+

## aams+ (プラス)

## 転倒リスク予測

## —具体的な利用イメージ—

夜



睡眠センシング

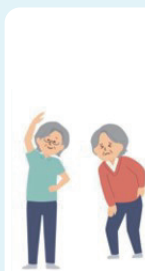
心拍

呼吸



翌朝

AI が全自動で能力推定し  
転倒の危険度が高い人をピックアップ



### ■ 運動能力

睡眠中の心拍や呼吸の変化から、**個人の「体力」や「回復力」をAIが推定**

たとえば、運動直後に心拍がどのように変化するか (回復スピード) は体力を示す指標のひとつです。同様に、入眠直後の心拍がどのような波形で深い睡眠へと移行していくかを分析することで、その人の運動能力の傾向が分かります。

この「心拍の下降パターン」には個人差があり、健康な人と体力が低下している人では顕著な違いが見られます。

### ■ 認知能力

呼吸の深さや寝返り時の心拍変化など、**身体の無意識な反応から認知機能の状態を把握**

認知機能が低下した方は、呼吸が浅くなる傾向があり、脳への酸素供給が減少しがちです。また、胸郭 (肋骨周辺) が硬くなりやすく、寝返りが困難になります。

このような方が寝返りをする時心拍が急激に上がるという特徴が現れます。さらに、認知機能が低下している人には、朝方に突然起き上がる、徘徊するなどの行動パターンが見られることもあり、これらも重要な分析対象です。

## 転倒リスクの可視化

危険

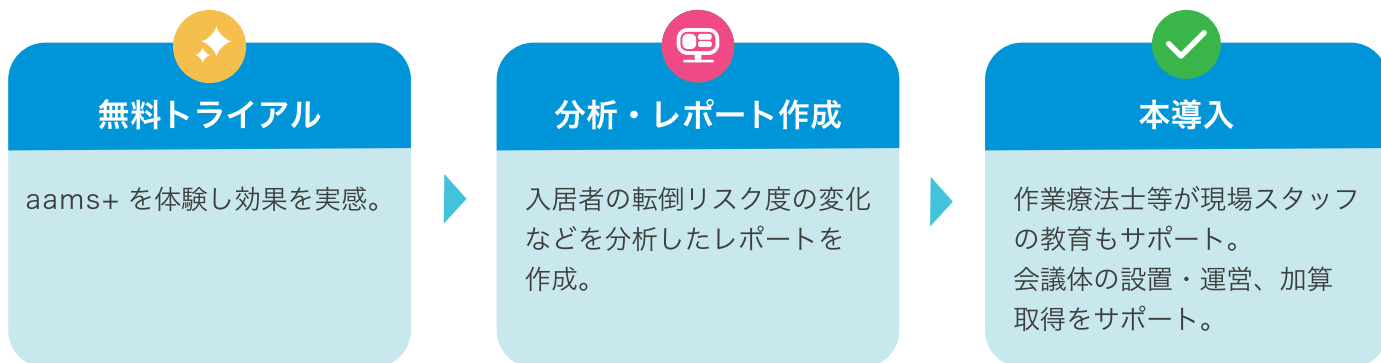
注意



※「配慮 (変化なし)」の場合は色がつきません

「リスクの可視化」によって、対象者に対する職員への転倒予防への意識付けと柔軟なオペレーション構築に繋がられ、業務負担だけでなく効率化を推進できる環境整備が進められます。

## 充実した導入サポート



### ポイント 01

介護現場に精通したリハビリテーション専門職が導入支援・操作指導を行うため、安心して活用いただけます。

### ポイント 02

初期設定は「利用者の基本情報」と「ADL4項目」の入力のみ。

入力作業は、提供元である Rehabilitation3.0 株式会社が代行します。

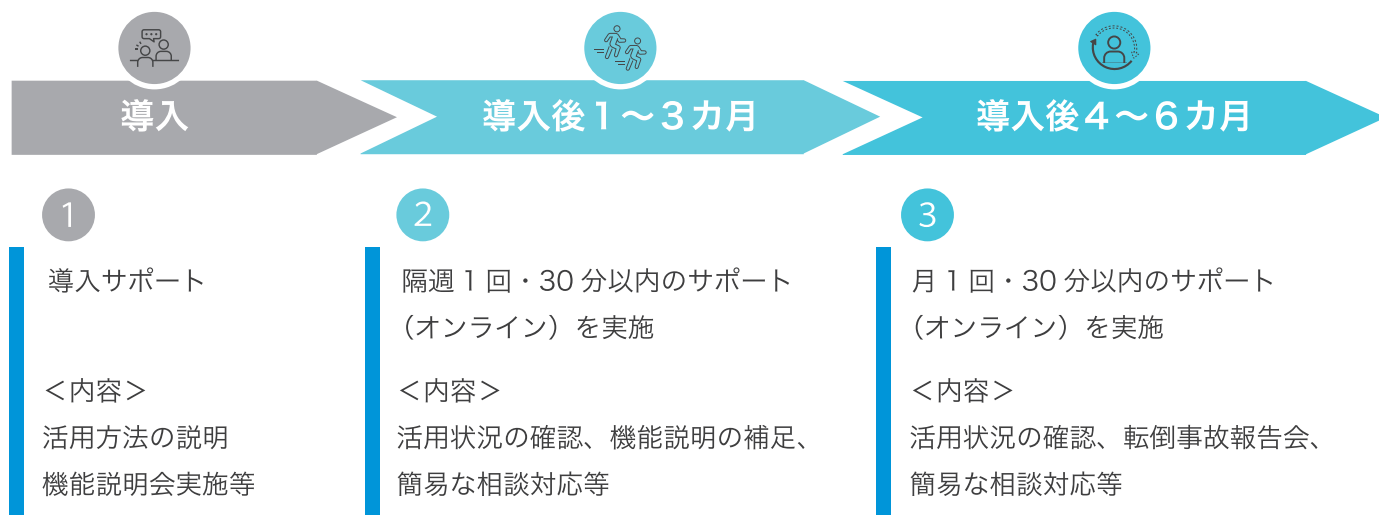
### ポイント 03

初期設定後は、毎日 AI が自動で状態を推定するため、定期的な追加入力は一切必要ありません。

## 購入後のサポート ー 伴走支援 ー

### aams+ の活用定着に向け

導入後6ヵ月間は充実したサポートを実施いたします。



※伴走支援期間中は、転倒事故の要因分析について適宜サポートいたします。

※伴走支援は提供元である Rehabilitation3.0 株式会社が実施いたします。

デモ機をご用意しております、お気軽にご連絡ください。

[販売店]

[製造元]

株式会社バイオシルバー **bio silver**

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜2-14-4 シルバービル1F

FAX: 045-548-5289 <http://www.biosilver.co.jp>

お問い合わせ ▶ **045-548-5478** 2026.04 発行